

# 東京都防衛協会60年の歩み



初代会長：櫻田 武  
(日経連会長)  
S41年～S53年



第2代会長：杉田一次  
(第4代陸上幕僚長)  
S53年～S58年



第3代会長：瀬川美納留  
(野村証券会長)  
S58年～S63年



第4代会長：宮崎 輝  
(旭化成会長)  
S63年～H4年



第5代会長：山口信夫  
(旭化成会長)  
H4年～H22年



第6代会長：伊藤 和夫  
(三菱重工業会長)  
H22年～R5年



第7代会長：大宮英明  
(三菱重工業相談役)  
R5年～

S41.3.27  
東京都自衛隊協力会連合会として発足  
事務所：新宿区市ヶ谷

S42.6.7  
東京都防衛協会と改称  
事務所：新宿区市ヶ谷

S43.7.30  
東京都防衛協会が幹事団体として支援し東部防衛協会（東部方面管内1都10県）設立  
会長：東京都防衛協会会长  
事務所：東京都防衛協会内

S44  
防衛協会全国連絡協議会結成  
東部防衛協会が代表幹事を務め  
事務所：東京都防衛協会内に置く

H元年10.5  
全国防衛協会連合会設立  
会長：発起人代表で東京都・東部防衛協会会长が就任  
事務所：東京都防衛協会に置く

H28年9月  
東京都・東部全国防衛協会連合会の会長は設立当初のままであるが、事務所はそれまで同居していた全国・東部は独立し、3協会の事務局長を兼任していた東京都防衛協会事務局長は東京都のみの選任となった



## 時代背景

昭和41年頃の自衛隊は冷戦下という状況で、国内防衛だけでなく災害派遣など多岐にわたる活動を展開していました。当時の日本経済は昭和48年のオイルショック迄は高度成長期でした。しかし、国民生活では令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症により令和2年には「緊急事態宣言」が発出され世の中が一変しました。然し、令和5年5月には「5類感染症」に移行され、警戒は必要であるものの元の生活に戻りつつあります。

このような世相を背景に経済界を中心となって資金援助し、東京都内市区町村の国民が人的基盤を拡大して「防衛意識の普及・高揚」「自衛隊を支援すること」の2目的を掲げ純粹に「国を守る心」という思いで設立された非営利団体が「東京都防衛協会です」